

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 東大阪市実践研究校名 東大阪市立柏田中学校

【公開授業】公開日：平成26年1月30日

対象学年：2年生

(教材・教科書名) NEW CROWN 2 (单元名) Lesson7	(本時の指導の目標) ジェスチャーを交えて、プレゼンテーションをすることができる。
--	--

(本時の授業において工夫した点)

- 習った表現を活用し、わかりやすくプレゼンテーションできているかを評価する。
- 生徒のスピーチに対するコメントを丁寧に行う。
- 相手に情報を伝える様々な方法を知らせる。

(授業後を終えた教員の感想)

- 今の生徒の実力には、少しレベルが高かったかもしれないが、普段学びに消極的な生徒も、必死に発表できたことは大変良かった。
- スピーチに対するコメントでは、声やジェスチャー以外の生徒の考えた内容にもコメントすればよかった。

実践研究校名 東大阪市立柏田小学校

【公開授業】公開日：平成26年1月30日

対象学年：5年生

(教材・教科書名) (单元名) 「節分」を伝えよう	(本時の指導の目標) ・節分についてALTにわかりやすいように表現方法を工夫して英語で紹介する。 ・世界の文化や行事について知り、興味を持つ。
-------------------------------------	---

(本時の授業において工夫した点)

- 児童の説明、表現方法に対して、丁寧にコメントする。
- 児童が、日本の伝統文化を積極的に表現し、ALTと共に楽しむ工夫をする。

(授業後を終えた教員の感想)

- 終始元気よく、ALTに知ってもらおうと積極的に自分から関わりにいていたことがとてもよかった。
- ALTとの自然な会話の時間をもう少しとることができればよかった。

【公開授業】公開日：平成26年1月30日

対象学年：6年生

(教材・教科書名)	(本時の指導の目標)
(単元名) 昔話を伝えよう。	ALTに日本の昔話を伝える。

(本時の授業において工夫した点)

- ・聞き手を意識した発表の仕方を明確にしておく。
- ・英語らしい発音をするよう促す。
- ・児童の発表に多くの教員からコメントをする。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・小道具やジェスチャーなど、児童自身で工夫できたことが大変よかった。
- ・まとめでは、自分のふりかえりの時間をしっかりととり、次にどんなことをしたいかなど、文章でしっかり書くことにも力を入れることができればもっとよかった。

【研究協議会】

(テーマ)	(指導・助言者)
これからの小学校、中学校の英語教育の方向性	大阪教育大学 加賀田 哲也教授

(研究協議会で出された意見)

- ・家庭学習にどうつなげるかが、今後の課題
- ・ALTを含む教員の児童、生徒へのコメントや評価を工夫する
- ・小学校でともに授業をして、授業のルールをていねいに明確に確認していることに気付いた。中学校でもこれを取り入れることで、課題である授業規律や中1ギャップを解消する一助となると感じた。(柏田中学校教諭)
- ・小学生にとって、中学校教員の英語の発音は魅力的であり、学ぶ意欲を高める。(長瀬西小学校教諭)

(まとめ)

1. 児童は、日本の伝統行事や日本特有のものを相手に伝えることの大切さを学ぶことができた。また、どうすれば相手に分かりやすく伝わるか、工夫し実践することができた。
2. 中学校では、自分の意見を持つことの大切さを学び、それを人の前で堂々と発表する体験ができた。また、意見の違いを理解することも学んだ。
3. 教員からの評価は大変重要で、今後の学習意欲を大きく左右する。できた、頑張ったことをみんなで共有し、共に学ぶ学習環境を整えることが大切である。